

変化を動的に捉える リスクダッシュボードの実装

硬直的なリスクの分析・計画・検証サイクルからの脱却

複雑かつ変化が早いリスク環境下において、年初にリスクを分析し年度内部監査計画等を策定し実行するような従来型の方法では、経営や管理に有用な鮮度あるリスク情報の提供は困難となっています。KPMGは、社内に多数存在する経営・業務管理データの中から多項目のリスク情報を集約し、その状態及び動向を視覚化したリスクダッシュボードの構築及び動的なリスク情報の活用体制の確立を支援します。

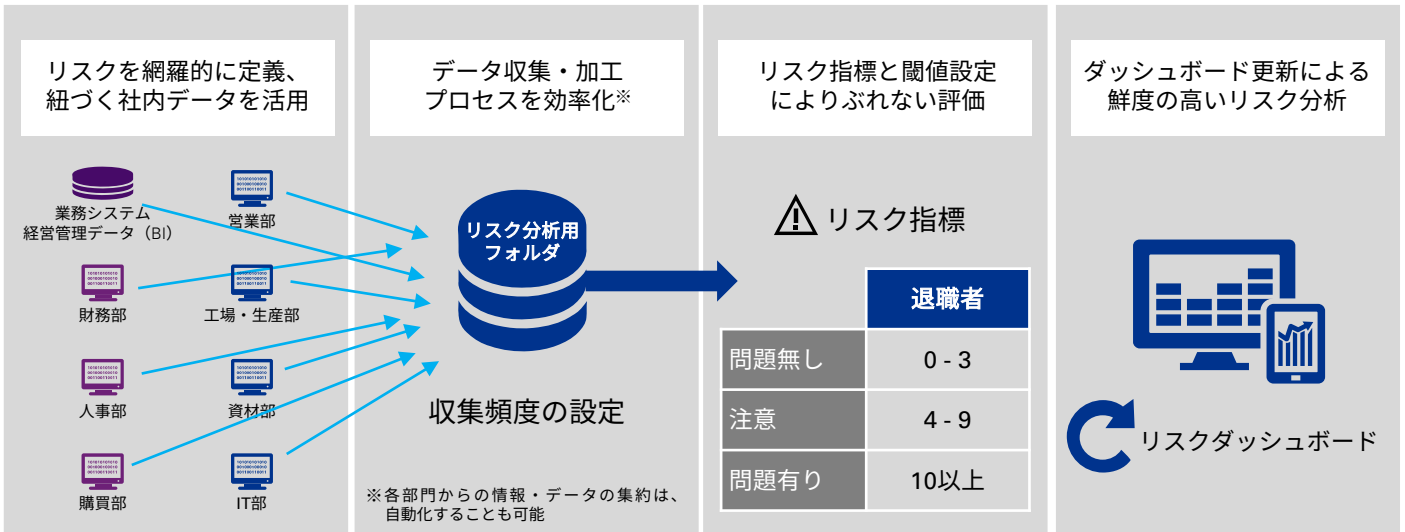
刻一刻と変化するリスク環境と従来型のリスク評価の限界

従来のリスク分析手法では、内部監査部門等に限られた情報を収集し、様々な関係者の意見を取りまとめて感覚的・定性的な評価で、リスクを識別するアプローチが一般的です。このアプローチではその負荷の高さから、年に1回程度の分析で年間内部監査計画等を決定し、実行するため、その後のリスク変化への対応が困難です。また、少数の最重要リスクを絞り込むなどリスク情報は断片的であり、内部監査計画等で選定した対象拠点の選定根拠を明確に説明することが困難でした。



リスクダッシュボードの仕組みと効果

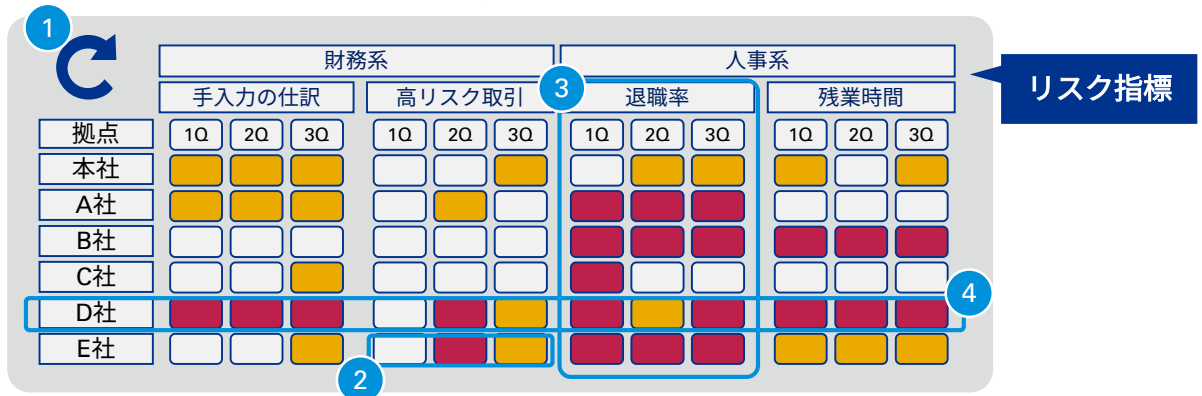
多くの企業では、既に様々なリスク関連情報やデータを保有しています。しかし、総合的にリスクを把握する観点での取りまとめと活用がなされてはいません。リスクダッシュボードを活用すると、リスク評価プロセスが効率化され、変化するリスク情報を低負荷で効率的に捉え続けることが可能です。



リスクダッシュボードの機能と活用方法

リスクダッシュボードは、識別したリスクに紐づく指標とその指標ごとに定義された閾値に基づき、視覚的にリスクの所在と動向の情報を提供します。市販のBIツールの活用により、効率的な実装が可能です。

リスクダッシュボード



1 継続的なモニタリング

リスクダッシュボードの情報を定期的に更新し、モニタリングすることで、リスクの変化や傾向を把握することができます。

2 閾値設定により、ぶれない評価

各リスク指標について、予め閾値を設定し容易にリスクの所在と動向を確認することが可能となります。

評価	問題有	注意	問題無
退職率	6%以上	1 - 5%	0 - 1%

3 高リスク領域・監査テーマの識別

縦軸でリスク項目を見ることで、どの領域により高いリスクが存在しているのかを確認できます。

4 高リスク拠点の識別

横軸でリスクを見ることで、よりリスクの高い地域や拠点を識別することが容易です。

リスク指標のイメージ

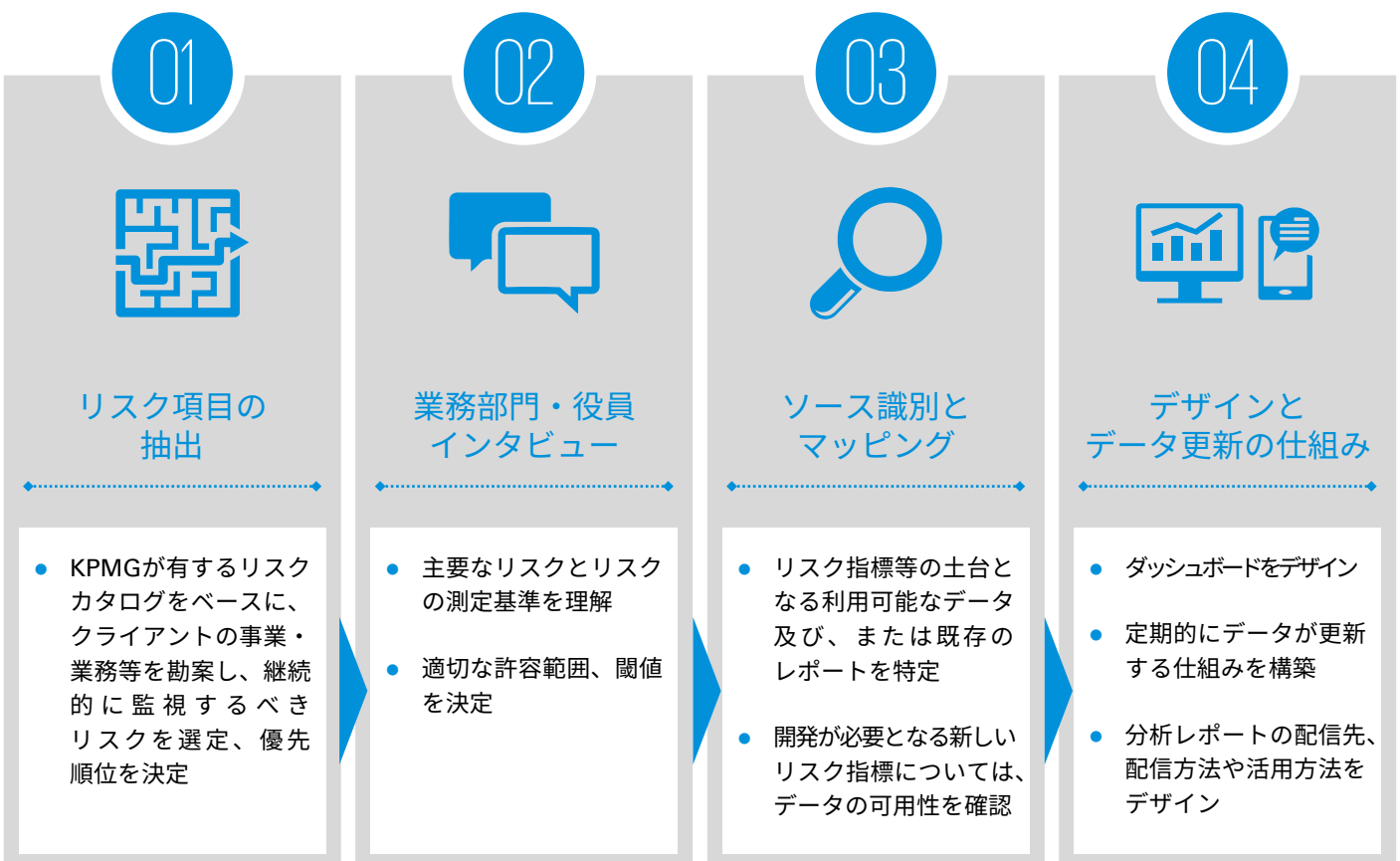
リスク指標は、自社の事業や業務に適合するものであること、偏りなく多面的に選定されていることが重要です。KPMGが有するリスク項目のノウハウを活用することで、効率的にクライアントの実情に適合する項目選定を行うことができます。

販売	購買	...
1 販売金額	1 新規の取引先数	1 ...
2 取扱いアイテム数	2 買掛金の年齢表	2 ...
3 売上に占めるリベート／割引の割合	3 疑わしい支払取引件数	3 ...
4 与信限度額を超えている顧客の割合	4 商品受入前に請求書が発行された取引数	4 ...
5	5	5 ...

生産と在庫	人事労務	...
1 在庫回転率	1 平均勤続年数	1 ...
2 在庫に対する販売不可商品の%	2 退職率	2 ...
3 設備稼働率	3 健康にかかわる指標	3 ...
4 品質エラーによる廃棄品の%	4 従業員満足度	4 ...
5	5	5 ...

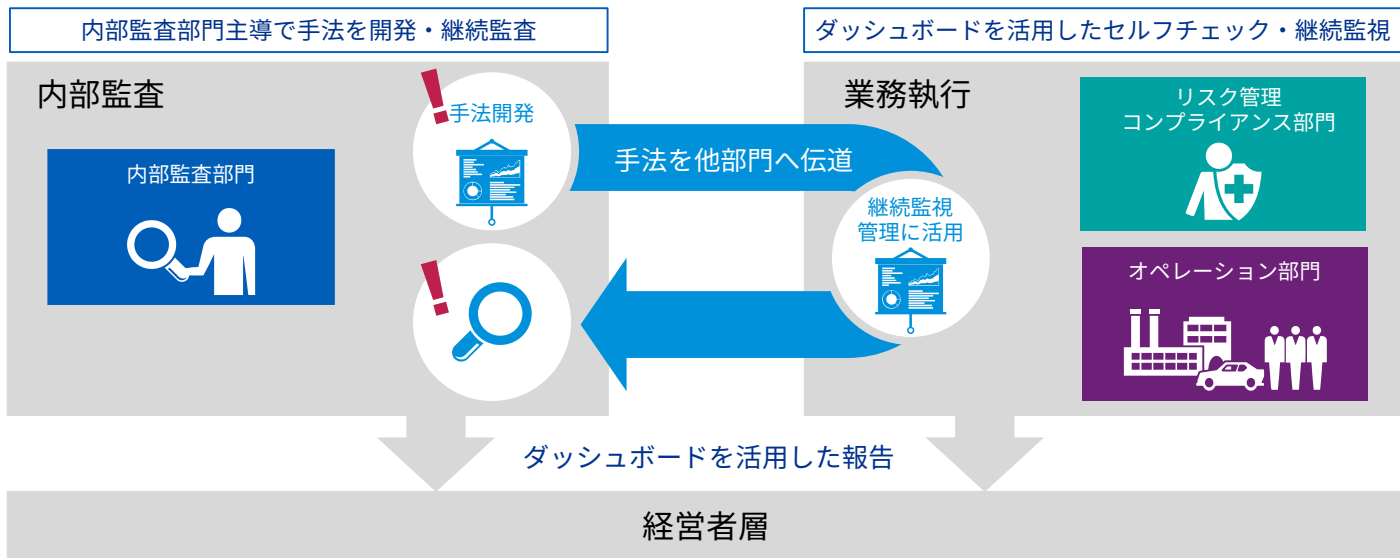
リスクダッシュボード構築のステップ

KPMGでは保有するリスクカタログやリスク管理業務で培ったノウハウを基に、企業の業務や環境に即したリスクを識別し、収集すべきデータの選定や、リスク状況の判断軸となる閾値の設定を支援します。またダッシュボード作成過程においては、データの収集・統合の仕組み、利用者の視点に沿った効果的かつ高品質なリスクダッシュボードの設計・構築を実現させます。



リスクダッシュボードの全社活用

リスクダッシュボードを内部監査部門だけではなく全社的に活用することで、企業全体の監視及び是正活動を効率化することが可能です。業務執行部門や管理部門も利用することができれば、当該リスクへの対応活動がより力強く推進され、また内部監査部門はその結果を利用し、さらに他の重要リスクの監査に注力することにも繋がります。



01

KPMGの優位性

デジタル × 内部監査・リスクマネジメントの専門家

KPMGではここ数年、IT担当のみならずリスクマネジメント及び内部監査の専門家が、データやデジタル技術に携わっており、内部監査に活用可能なデジタルソリューションの開発を直接行っております。

デジタル × グローバルネットワーク

KPMGはグローバルネットワークと抱負なクロスボーダープロジェクトの経験を活用し、グローバルと連携したリスクマネジメントや内部監査におけるデジタルソリューションのアドバイザーサービスを提供します。

コミットメント

KPMGはクライアントと長期的な信頼関係を構築することを大切にしています。企業のビジネスにとって効率的・効果的な、唯一無二のソリューションを提供するために全力を尽くします。

02

KPMGのデジタル活用に対する想い

デジタルツールの活用は人的リソースの活用手段

KPMGでは、労働人口減少時代において限りある、そして企業にとって最重要リソースである人材を、最大限活用することが企業の競争力強化に重要であると考えています。

代えがたい仕事に人間が集中する、人間ならではの強みをより強く発揮する、KPMGはそのためのデジタル活用を推進してまいります。

KPMGコンサルティング株式会社

TEL : 03-3548-5111

kc@jp.kpmg.com

www.kpmg.com/jp/kc

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティング株式会社までお問い合わせください。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供できるよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2018 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. 18-5076
The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.